

岐阜医療科学大学学祭「岐療祭」(令和7年11月2日)

カーボンニュートラルの実現に向け、地球温暖化の影響を大きく受ける将来世代の意識や行動変容に向けた啓発として、岐阜医療科学大学の学祭に出展しました。

学生と市が連携したプロジェクトでは、空き時間や夏休みも使いながら学生が主となって大学のキャラクターを用いた親しみやすいデザインの回収ボックスを作成しました。このボックスには「リサイクルへの協力を広げたい」、「ゴミ問題について深く考えてほしい」、「リサイクルにより資源として生まれ変わることを知ってほしい」という学生の思いが込められています。今後は校内に推進しながら、市民の皆さんへ伝えていけるような仕組みを考えていきます。

ー学生のみなさんが作成したペットボトル回収ボックスー



キャラクターには学科×動物をあしらったかわいい名前がついています。

運搬が設置がしやすく、長く使える素材を選び、左側：ペットボトル 右側：キャップ・ラベルが入れられるように製作されています。

市が出展したブースには多くの学生や来場者が訪れ、リサイクルの現状や、「ボトル to ボトル」の仕組みを知ってもらう機会となりました。

－ 参加された皆さんのようす －



たくさんのご参加ありがとうございました！

